

地区協議会（東京地区）開催報告書

地区代表理事氏名 眞鍋 一

表記の会議を開催いたしましたのでご報告いたします。

開催日時	令和 6 年 1 月 22 日（月曜日）18:00～19:00		
開催場所	Web 開催		
出欠状況	出席支部名	出席者氏名	欠席支部名
	✓	西山 信之	
	✓	眞鍋一	
	✓	薄井照人	
	✓	今村顕	
		佐藤由巳子	✓
	✓	外山和也	
	✓	永瀬隆之	
	✓	森田仁計	
	✓	横田克彦	
	✓	吉崎隆	
	✓	脇千香子	
	✓	小野瀬由一	
	✓	竹本君江	
出席者 14 名			✓
次回開催予定	令和 6 年 3 月 18 日（月曜日）		

令和5年度第4回東京地区協議会 議事録

I. 令和5年度第4回東京地区協議会の議題

報告事項

1. 支部理事会報告事項

(地区・支部の事業計画、地区・支部の予算、支部役員選任の件)

2. 支部各委員会報告

3. 本部協会各種委員会報告

4. 本部理事会報告

II. 会議の内容

[報告事項]

1. 支部理事会審議事項

議長より、本日の理事会において審議予定の次の事項について報告があった。

①支部役員選任の件について、②地区・支部の事業計画（案）について、③地区・支部の予算（案）について、④令和6年度会議行事予定表（案）。

2. 支部各委員会報告（支部理事会での報告内容と共通）

1) 財務委員会

地区協議会及び支部の経理状況等について確認した結果として、次の事項について報告があった。①地区協議会の通帳・金銭の流れ、②支部の会議開催状況、③勤改センターに関する通帳・金銭の流れ、④経費削減確認、⑤その他。また、経費削減に関し、今後は総会資料のペーパーレス化及びメールの活用により、印刷・郵送費用の削減を進めたい旨が述べられたほか、研修会の黒字化、会員増員企画における本部予算の活用が要望された。一連の報告を受け、委員会の構成員に変更がある場合にはその都度理事会に諮ることのほか、会議はオンライン開催を原則とし、対面で開催する場合には予め理事会に諮ることを確認した。なお、監事に対する確認事項については、監査の際に改めて確認する旨のコメントが監事からなされた。

2) 会員支援委員会

会議の経過について報告があり、既存会員に対するフォローアップについて、直近2年度以前にも枠を広げて継続実施することが報告されたほか、次年度委員の構成が変わった場合においても、同様の方向性で進めていきたい旨が述べられた。

3) 総務委員会

総務委員会での経過について報告があり、前回理事会の議事録作成のほか、今月の支部運営委員会の開催にあたり、議題及び資料の確認等を行ったことが報告された。

4. 本部各種委員会報告について

本部各種委員より、次の事項について報告があった。

1) 財務委員会

- ・開催実績
- ・第4回財務委員会（令和5年12月15日）①財務委員会の令和5年度決算見込み及び令和6年度事業計画・予算（案）、②各常任委員会の令和6年度予算（案）集計結果の確認と調整、③令和6年度個別申請式予算、④四半期決算予算執行状況確認に係る報告書（地区・支部）へのフィードバック
- ・その他

2) 総務委員会

- ・第5回本部総務委員会審議事項と主な経過について。①支部会員名簿の取扱いのルール化について、②退会届提出後の取消依頼に伴う条文化等の検討について、③人事労務関係規定について、④「二次試験評価基準」の改定について、⑤システム基盤再構築特別委員会の提言に対する対応について、⑥休止者等の条件緩和の検討及びそれに伴う課題の確認について。

3) 広報委員会

- ・来年度モダンホスピタルショーでの出展・セミナー開催について
- ・戦略的な広報活動について（機関紙の媒体に関して）

4) 学会学術委員会

- ・今後の大会開催地予定について
- ・他学会との連携について

5) 教育研修委員会

- ・定額制個人研修のコンテンツ及び講師の選定について
- ・診療報酬改定セミナーについて

5. 本部理事会報告について（支部理事会での報告内容と共通）

議長より、本部理事会報告として次の事項が報告された。①第249回定例理事会議題、②会員の入・退会等について、③令和5年度医業経営管理能力検定試験結果、④京都大会予算執行について、⑤令和6年度事業計画案について、⑥香川大会について、⑦公益目的事業について（変更箇所）、⑧在宅勤務規定の制定について、⑨地区協議会報告について、⑩常任委員会等の開催報告について、⑪寄付金について、⑫支部会員名簿の取り扱いに関する実態調査について、⑬令和5年第7回議事運営協議の場、⑭令和6年度個別申請予算取扱い要項、⑮地区協議会・支部の予算執行の柔軟運用要項。

地区担当副会長からのコメント

地区協議会のあり方に関する、令和6年度事業計画及び重点施策の骨子について説明があった。協会の魅力づくりのため、本部では、一人ひとりの主観的な思いを論理的に整理し、これを実現するプロセスを明確にする作業を行っている。調査提言委員会、学会学術委員会、教育研修委員会のサイクルを事例とし、会員のために資源なり時間なりを活かすためにも、本部、地区、支部単位でも一連のサイクルを整えることを心掛けること。

以上

議事録署名人	議事録署名人
2月 / 日	1月 23日